

# 別所線全線復旧の関連議案を議決 8億6,680万円 (1月臨時議会)



写真は、発災直後のものです。



1月24日、上田市議会臨時会が開かれ別所線の全線復旧に関する議案(一般会計補正予算、負担付寄付の受納、別所線千曲川橋梁等の災害復旧工事に関する協定の締結)の三つの議案が提出され、総務文教委員会および環境建設委員会に付託され審議、本会議で全会一致議決されました。これに先立って、20日、議会全員協議会が開かれ「別所線千曲川橋梁等の災害復旧事業の進め方について」説明があり、議員から質疑がされました。

私は、全員協議会及び総務文教委員会において、①市の方針を決めるにあたって他の方法と比較検討した内容はどうか。②国の方針は、97.5%を負担するという特別対応であるが前例はあったのか。③今後、別所線千曲川橋梁を市の所有になることで、市が負担することになる費用について、今後の財政シミュレーションを示す必要がある。④別所線千曲川橋梁は、大正13年10月に竣工してから96年目を迎えているが、耐用年数はどうか。⑤補正予算額(8億6,680万円)の根拠はどうか。などについて質疑しました。財政市側からは、「第三セクターにした場合との比較」「熊本地震の例があるが、橋梁という点では全国で初めての例」「上田電鉄と協議して財政シミュレーションは提出する」「耐用年数は、相当期間ある」「根拠はあるが結果的に増減する場合がある」  
※私は、市側の「早期全面復旧したい」「市の負担が最小限となっている」などの答弁を理解しました。あわせて、公共交通の重要性や別所線の役割については今後も議論が必要と考えました。

## 1月写真通信



【写真の説明】 ○上段、左から城下後援会のみなさんと新年会にて。令和2年上田市消防出初式 式典(サントミュージゼ)。上田市成人式(丸子文化会館セレスホール)。「政治家になりたい」と「成人代表誓いのことば」であいさつした中沢さんと。〈私の息子ではありません。〉  
○中段、左から長和町の古町で行われている「おたやまつり」 起源は、江戸時代後期の文政11年(1828年)とされている。市議会総務文教委員会による台風災害調査(千曲川河川敷のスポーツ施設)、調査後に市役所において災害対応について会議。都築誠さんの作品展(東御市田中)。  
○下段、左から上田市議会観光産業振興議員連盟による東京での視察より。(株)東急エージェンシーにて。オリンピック関連施設にて。両国国技館前にて。両国では街歩きボランティア(有料)をお願いして、名所案内をしてもらい1万3000歩以上も歩きました。